

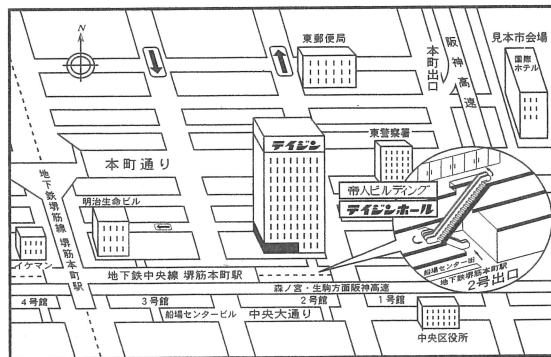
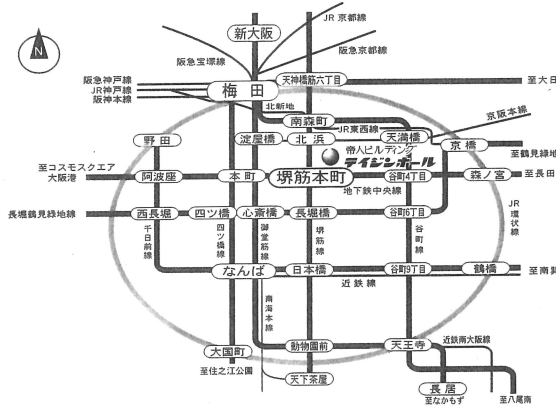
第30回 近畿川崎病研究会

日 時：平成18年3月4日(土)
13:00~18:30

会 場：テイジンホール

大阪市中央区南本町1丁目6番7号
TEL 06-6268-3131~3132

テイジンホールご案内地図



地下鉄中央線・堺筋線の堺筋本町駅東口から専用通路がございます。(東側2号出口)

共 催

近畿川崎病研究会
帝人ファーマ株式会社

— 近畿川崎病研究会 —

第30回研究会会長

吉林 宗夫

運営委員長

横山 達郎

運営委員

石田 明人	上村 茂	越後 茂之	萩野廣太郎
奥野 昌彦	尾内善四郎	片山 博視	北村惣一郎
清沢 伸幸	小垣 滋豊	米田 正始	坂崎 尚徳
佐野 哲也	篠原 徹	清水 達雄	杉本 久和
鈴木 淳子	鈴木 啓之	瀬戸 嗣郎	津田 悦子
鄭 輝男	寺口 正之	土井 拓	富田 安彦
中川 雅生	服部 益治	馬場 國藏	濱岡 建城
福田 和由	藤原 久義	古庄 卷史	松村 正彦
三谷 義英	村上 洋介	横山 達郎	横山 直樹
吉林 宗夫			

顧問

川崎 富作	川島 康生	田村 時緒	濱島 義博
森 忠三			

事務局

〒541-0045 大阪市中央区道修町2-2-6 後藤ビル6階
(株)協和企画 大阪支社内
TEL 06-6231-6770

— お知らせとお願い —

1. ご参加の方へ

- (1) 開始時間は午後1時です。
- (2) 参加費は1,000円です。

なお、本会に未加入の方は入会のほどお願いいたします(年会費は3,000円です)。

- (3) 本会は、日本小児科学会認定医研修単位として5単位となっています。

2. 演題発表について

- (1) 本会ではディスカッションを十分に行いたいと思います。

口演時間は発表6分(討論4分)をお願いいたします。

- (2) PC形式のみとなりますのでご注意ください。
- (3) 発表用のデータは、以下の要領で口演の30分～1時間前までに「データ受付」へご提出ください。

[メディア] USBフラッシュメモリあるいはCD-R(Win/Macハイブリッド)

※必ず出力紙を添付してください。

※動画が含まれる場合は、ご自分のPCを持参いただき、事前に動作確認をした上でご提出ください。

[その他] OS: Win98以降・Mac9.2以降

ソフト: PowerPoint

ファイル名: プログラムNo.と演者のお名前(記号や半角カナは含めない)

※フォントは一般的なものを使用してください。

- (4) 口演終了後、舞台袖の控室でメディア(USBフラッシュメモリやCD-R)あるいはPCをお受け取りください。

- (5) 口演内容は、Progress in Medicine 7月号(ライフ・サイエンス)に掲載される予定ですので、以下の要領でまとめてください。

[執筆要領] 図表を別として、400字詰原稿用紙で12枚以内

※200字以内の英文抄録を添付してください。

[原稿締切] 平成18年4月30日(予定)

※後日、ライフ・サイエンスから改めてご連絡します。

[問合せ先] (株)ライフ・サイエンス 日村昭仁

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-67 コスモス青山

TEL 03-3407-8963

開会の挨拶 13:00～13:05

第30回研究会会長 吉林宗夫 (近畿大学医学部奈良病院小児科)

セッション1 13:05～13:55

座長：松村正彦 (天理よろづ相談所病院小児循環器科)

土井 拓 (京都大学小児科)

1. 虫垂炎術後に川崎病症状が出現し、ガンマグロブリン治療を受けた6歳女児の1例

神戸市立中央市民病院 小児科

宮越千智 塚中真佐子 東浦壮志 阿部倫子 山川 勝
富田安彦 久保田 優

2. ガンマグロブリン大量療法中に無菌性髄膜炎を発症した川崎病の1例
～川崎病によるのかあるいはガンマグロブリンの副作用か～

金沢医科大学 小児科

高 永煥 佐藤仁志 中村常之 高橋弘昭

3. 生後13日で発症した川崎病の1例

近江八幡市民病院 小児科

三村由卯 星野真介 宮本彩子 奥野計寿人 吉田 忍
岡本暢彦 西澤嘉四郎

4. 発症時有意な発熱と炎症所見を認めなかったが、冠動脈瘤を形成した1例

市立堺病院 小児科

吉田寿雄 林 振作 石井 円 天羽清子 志水信彦
北岡照一郎 森田好樹

5. 左右巨大冠動脈瘤を認めた川崎病容疑例

大津赤十字病院 小児科

水戸守寿洋 青山愛子

大津赤十字志賀病院 小児科

渕元浩二

セッション2 13:55～14:35

座長：中川雅生 (滋賀医科大学小児科)

三谷義英 (三重大学小児科)

6. 川崎病性冠動脈瘤を伴った右冠動脈左バルサルバ洞起始症の学童例

金沢医科大学 小児科

中村常之 佐藤仁志 山村淳一 高橋弘昭

7. 乏尿を伴って発症した川崎病の1例

近畿大学医学部奈良病院 小児科

北村則子 鎌田航也 久保里美 吉澤弘行 扇谷綾子
三崎泰志 箕輪秀樹 吉林宗夫

8. 当院における関節炎症状を伴う川崎病の臨床的検討

滋賀医科大学 小児科

白井丈晶 宗村純平 渡邊格子 藤野英俊 中川雅生

9. 当院に頸部リンパ節炎で入院し、最終的に川崎病と診断された患児の特徴

市立豊中病院 小児科

中堀 輔 川上展弘 森田祥子 大友孝信 小林尚弥
佐藤恵実子 吉川真紀子 徳永康行 本田敦子 松岡太郎

セッション3 14:35~15:15

【画像診断】

座長：鄭 輝男（兵庫県立こども病院循環器科）

寺口正之（関西医科大学附属枚方病院小児科）

10. マルチスライスCTが経過観察に有用であった超巨大冠動脈瘤を有する川崎病の1例

関西医科大学附属枚方病院 小児科

寺口正之 吉村 健 金子一成

国立循環器病センター 小児科

津田悦子

国立循環器病センター 放射線科

東 将浩 内藤博昭

11. マルチスライスCTによる川崎病冠動脈障害の描出 ～選択的冠動脈造影との対比～

国立循環器病センター 小児科

小林奈歩 津田悦子 羽二生尚訓 南 憲明 黒崎健一

山田 修 越後茂之

国立循環器病センター 放射線科

東 将浩 内藤博昭

12. 川崎病後の石灰化病変のMRA画像診断について

東京通信病院 小児科

北爪 勉 鈴木淳子 稲葉利佳子

東京通信病院 放射線科

武村 濃 是永建雄

日本赤十字社医療センター 小児科

藪部友良 土屋恵司

13. 川崎病冠動脈障害の心筋MRイメージング

東京通信病院 放射線科

武村 濃 是永建雄

東京通信病院 小児科

鈴木淳子 北爪 勉 稲葉利佳子

日本赤十字社医療センター 小児科

藺部友良 土屋恵司

東京医科歯科大学 小児科

土井庄三郎

特別講演 1 15:15～16:05 座長：吉林宗夫（近畿大学医学部奈良病院小児科）

「PET による川崎病心血管病変の評価」

北海道大学核医学診療科 教授 玉木長良 先生

コーヒーブレイク 16:05～16:20

事務局報告 16:20～16:30

セッション 4 16:30～16:50

座長：篠原 徹（近畿大学小児科）

14. 2005年度小学1年生における川崎病既往児の管理の状況と

川崎病急性期カードの普及度

大阪市立総合医療センター 小児循環器内科

村上洋介 川崎有希 江原英治 杉本久和

大阪府医師会学校医部会心臓疾患対策委員会

篠原 徹 横山達郎

15. 川崎病による心筋梗塞既往患者の自律神経機能

国立循環器病センター 小児科

吉田葉子 津田悦子 渡辺 健 越後茂之

特別講演 2 16:50～17:40 座長：越後茂之（国立循環器病センター小児科）

「重症川崎病患児に外科としてできること」

京都大学心臓血管外科 教授 米田正始 先生

セッション5 17:40~18:30

【ガンマグロブリン不応例】

座長：荻野廣太郎（関西医科大学附属洛西ニュータウン病院小児科）
村上洋介（大阪市立総合医療センター小児循環器内科）

16. 急性期に大量の腹水貯留を来し、肝静脈閉塞性疾患の合併が疑われた
MCLSガンマグロブリン不応例の1例

兵庫県立こども病院 循環器科

齋木宏文 加藤竜一 藤田秀樹 佃 和哉 城戸佐知子 鄭 輝男

17. 難治性のぶどう膜炎に対しステロイド投与を必要とした
川崎病ガンマグロブリン不応例の1例

市立宇和島病院 小児科

村上至孝 長谷幸治

愛媛大学 小児科

檜垣高史 松田 修 高田秀実 山本英一 中野威史
太田雅明 村尾紀久子 高橋由博 千阪俊行 森谷友造
貴田嘉一

18. IVIG療法不応例へのステロイドパルス後に神経症状を呈した川崎病の1例

阪南市立病院 小児科

桧皮谷朋子 赤井美津代

和歌山県立医科大学 小児科

渋田昌一 武内 崇 鈴木啓之 吉川徳茂

19. 川崎病難治例の追加治療についての検討

大阪川崎病共同治療研究グループ

藤原 誠 山本威久 牧 一郎 原 純一 佐野哲也

20. 愛媛県における川崎病ガンマグロブリン不応例の検討

愛媛大学 小児科

愛媛県小児心疾患懇話会

檜垣高史 石川純一 加藤文徳 小谷信行 高橋龍太郎
新野正治 林 正俊 馬場健児 藤澤由樹 松田 修
宮崎正章 村上至孝 山本英一 貴田嘉一

Kenketsu Venilon®-I

Intravenous Immunoglobulin



血漿分画製剤 特定生物由来製品 指定医薬品 処方せん医薬品[※]

献血 静注用免疫グロブリン製剤



献血ベニロン-I[®]

(乾燥スルホ化人免疫グロブリン)
生物学的製剤基準 注) 注意 - 医師等の処方せんにより使用すること

薬価基準収載

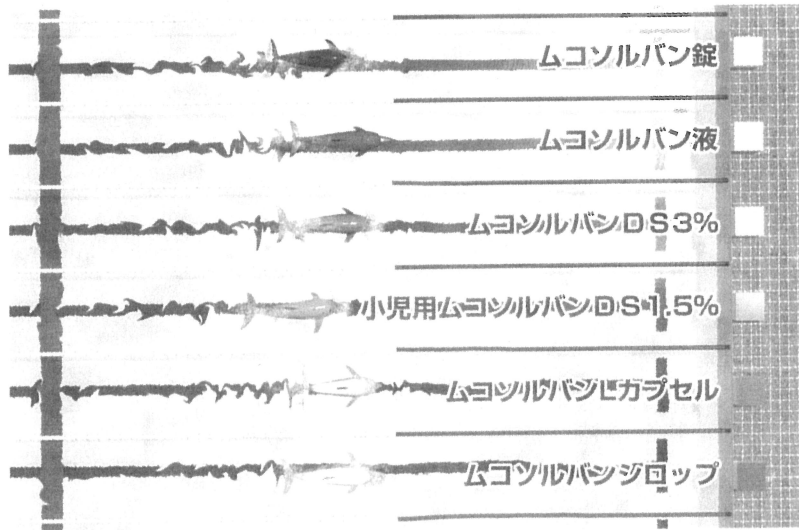
販売
TEIJIN 帝人ファーマ株式会社

〒100-8585 東京都千代田区千代田2-1-1
資料請求先: 帝人ファーマ(株) 学術情報部

製造販売
化血研 化学工業血液製法研究所
〒100-8585 東京都千代田区千代田2-1-1
資料請求先: (財)化学工業血液製法研究所営業管理部

■「効能・効果」「用法・用量」「禁忌・原則禁忌を含む使用上の注意」等は製品添付文書をご参照ください。

VEN902(MI)0507改4 作成年月2005年7月



指定医薬品 気道潤滑去痰剤

ムコソルバン[®] 錠・液・DS3%・シロップ
小児用ムコソルバンDS1.5%

指定医薬品 徐放性気道潤滑去痰剤

ムコソルバン[®] Lカプセル
Mucosolvan[®] 〈塩酸アンブロキシール〉 薬価基準収載

■「効能・効果」「用法・用量」「禁忌を含む使用上の注意」等は添付文書をご参照ください。

*製造販売元
TEIJIN 帝人ファーマ株式会社

〒100-8585 東京都千代田区千代田2-1-1
資料請求先: 帝人ファーマ株式会社 学術情報部



提携
ペリガン・インゲルハイム・インターナショナル社
インフレーション・イン・ドイツ

* 2005年4月改訂

MUC805(MI)0507改2
2005年7月作成